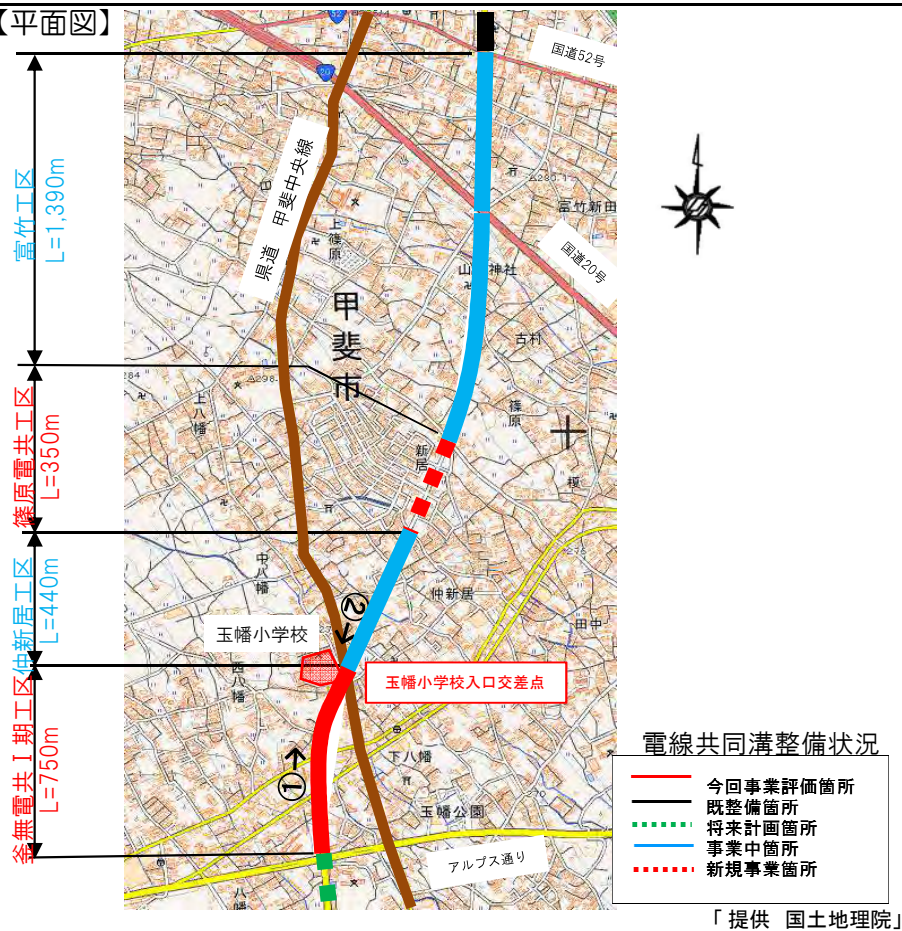


1. 事業評価説明シート

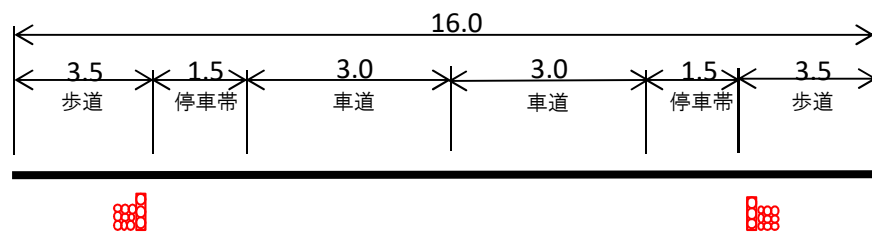
<p><b>事業名</b> 街路事業〔緊急街路整備事業（国補）〕</p>	<p><b>事業箇所</b> 甲斐市西八幡</p>	<p><b>地区名</b> (都) 田富町敷島線（釜無電共1期工区）</p>	<p><b>事業主体</b> 山梨県</p>
<p><b>(1) 事業概要</b></p> <p><b>①課題・背景</b>                  (都) 田富町敷島線は、甲斐市を南北に縦貫する延長約8.9kmの道路で、甲府都市圏域を中心とした道路ネットワークの一部を構成する幹線道路であり、地域住民の生活道路として重要な役割を担っている。当該区間は市街化区域内に位置し、沿道の土地利用も進んでいる箇所であるが、電線類の地中化が行われていない。こうした中、本区間の無電柱化を行い、緊急輸送路としての役割を強化すると共に、歩行者の安全性の向上及び良好な都市景観の形成を促進するため、電線共同溝の整備が必要となっている。</p> <p><b>□主要目標</b></p> <p>○都市災害防止                  緊急輸送路指定 あり（第2次緊急輸送路）                  自動車交通量 11,145台/12h&gt;3,428台/12h以上※                  他事業との連携 あり（終点側に仲新居工区と接続部分で連携必要）                  ○交差点の安全性、円滑性の向上                  死傷事故率 102件/億台キロ&gt;100件/億台キロ以上※                  自動車交通量 11,145台/12h&gt;3,428台/12h以上※                  道路構造令への適合 不適合（暫定形交差点） ※評価基準値</p> <p><b>□副次目標</b></p> <p>○歩行者等の通行空間の確保                  歩行者・自転車利用者数 1,004人台/12h&gt;93人台/12h以上※                  他事業との連携 あり（終点側に仲新居工区と接続部分で連携必要）</p> <p>○歩行者等の安全性の確保                  歩行者・自転車交通量 1,004人台/12h&gt;93人台/12h以上※                  自動車交通量 11,145台/12h&gt;3,428台/12h以上※                  小中学校からの距離 0m&lt;1km以内※ ※評価基準値</p> <p><b>□副次効果</b></p> <p>○ライフラインの強化（電線共同溝による統合整備）                  ○緊急時の避難・救助機能の確保（緊急輸送路の整備）                  ○被災時の被害波及の防止（無電柱化による緊急輸送路の保全）</p>		<p><b>(3) 事業の妥当性評価</b></p> <p><b>①公共関与の妥当性（行政が行うべき事業か）</b> <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>電線類の地中化は、その必要性から平成7年に「電線共同溝の整備等に関する特別措置法」が定められており、公共関与は妥当である。</p> <p><b>②事業執行主体の妥当性（県が行うべきか）</b> <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>当該路線は都市計画道路であるとともに県道でもあり妥当である。</p> <p><b>③経済妥当性</b> <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>電線共同溝事業であり、費用便益の算出規定がないため不算出</p> <p><b>④事業実施・規模の妥当性</b> <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>隣接工区では、ハイパス事業と同時に電線共同溝の整備を実施中であり、効果的な事業規模である。</p> <p><b>⑤整備手法の有効性</b> <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>現場条件から採用可能な電線共同溝方式としている。</p> <p><b>⑥環境負荷への配慮</b> <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>電線類地中化による環境への負荷はない。</p> <p><b>⑦事業計画の熟度</b> <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>地元の認知度、理解度は高く、本計画についても説明会等を通じさらなる合意形成を図っていく。</p> <p><b>総合評価</b> [貢献度ランク：a] <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p>	
<p><b>(2) 整備内容と整備量</b></p> <p><b>①整備内容</b>                  電線共同溝 L=750m（両側L=1,500m）W=6.0（16.0）m 交差点改良 1式</p> <p><b>②整備期間</b> 令和2年度～令和8年度</p> <p><b>③総事業費</b> 約750百万円                  国補700百万円（国費408百万円(5.83/10)、県費292百万円(4.17/10)）                  県単50百万円</p> <p><b>④全体計画</b> (年度別整備内容) (事業費)</p> <p>令和2年度 設計 50百万円                  令和3年度～令和8年度 電線共同溝工事・交差点改良工事 700百万円</p> <p><b>⑤既整備内容・期間・事業費</b></p> <p>富竹工区 L=1,390m、H23～R4、C=54.0億円                  仲新居工区 L=440m、H25～R7、C=16.5億円</p>		<p><b>電線共同溝整備状況</b></p> <p>— 今回事業評価箇所                  — 既整備箇所                  - - - 将来計画箇所                  — 事業中箇所                  - - - 新規事業箇所</p>	

## 2. 添付資料シート

【平面図】



【標準横断面図】



【写真①】



【写真②】

